

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

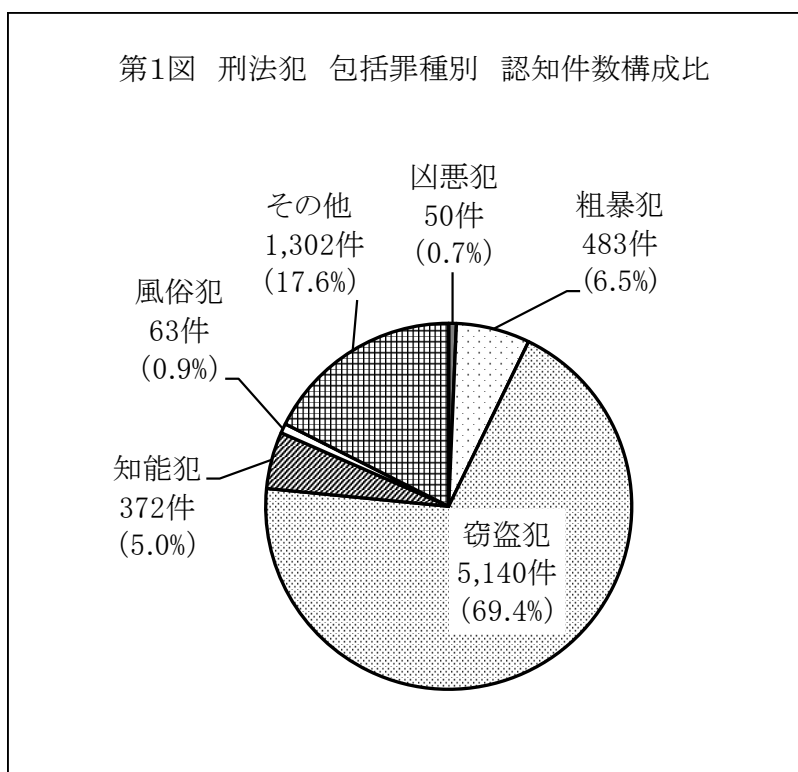
ア 概況

令和3年中の刑法犯認知件数は7,410件で、前年に比べ1,150件(13.4%)減少した。包括罪種別にみると第1表のとおり、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯が減少した。

第1表 刑法犯認知件数増減比較

包括罪種	令和3年		令和2年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	7,410	100.0	8,560	100.0	-1,150	-13.4
凶悪犯	50	0.7	44	0.5	6	13.6
粗暴犯	483	6.5	432	5.0	51	11.8
窃盗犯	5,140	69.4	6,106	71.3	-966	-15.8
知能犯	372	5.0	421	4.9	-49	-11.6
風俗犯	63	0.9	64	0.7	-1	-1.6
その他	1,302	17.6	1,493	17.4	-191	-12.8

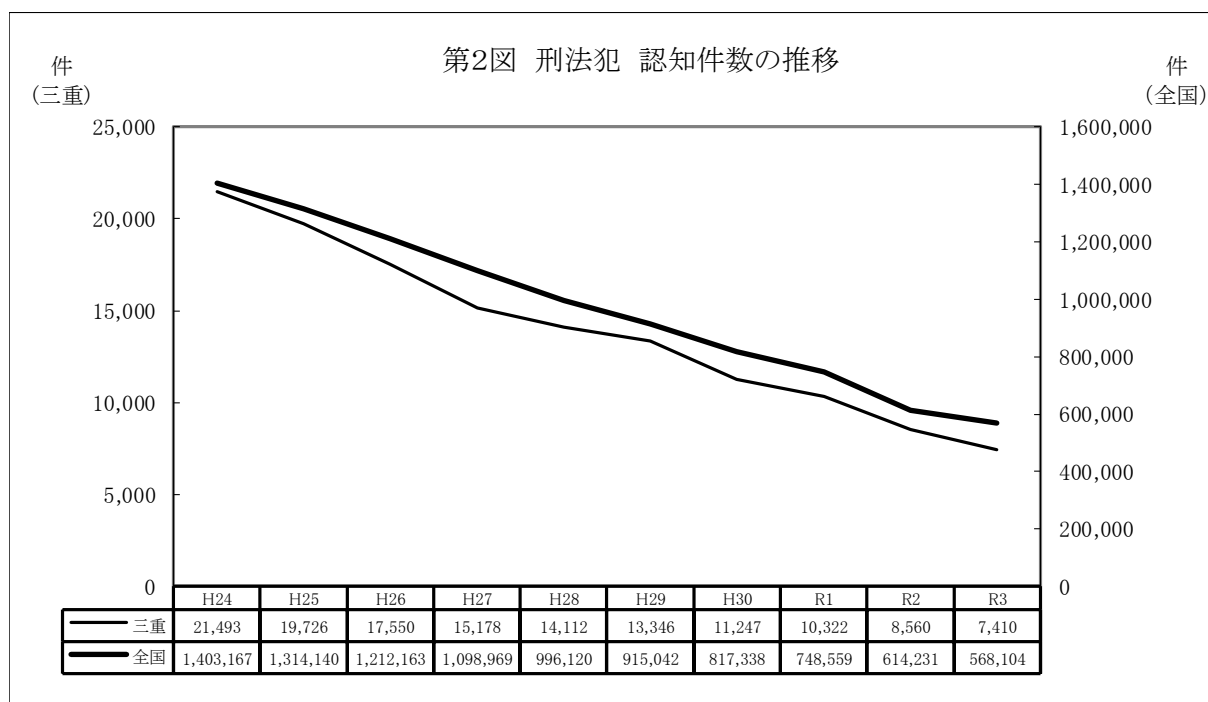
(ア) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



(イ) 都道府県別にみた刑法犯認知件数の全国順位は第20位(前年第19位)で、全国刑法犯認知件数568,104件の約1.3%を占めている。

また、犯罪率(人口10万人当たりの認知件数・令和3年10月1日現在の推計人口を用いて算出。)は422.0で、全国47都道府県中、14番目に高率であった。

(ウ) 刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、第2図のとおりで、平成24年以降、全国、三重ともに年々減少している。



イ 罪種別にみた発生(認知)状況

(ア) 重要犯罪

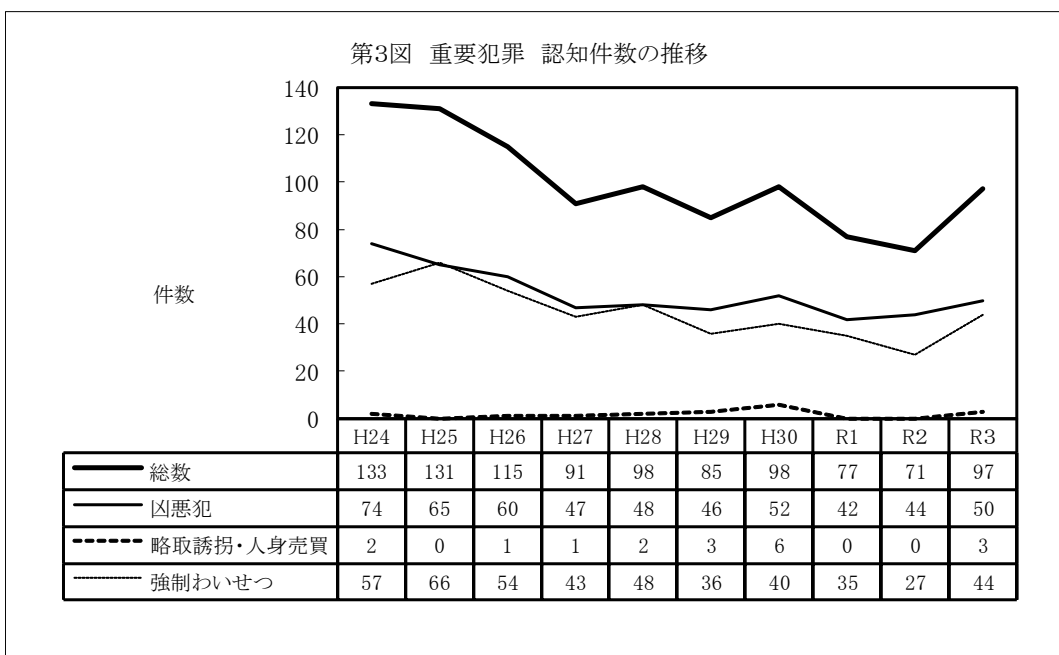
令和3年中の重要犯罪の認知件数は第2表のとおり97件で、前年に比べ、26件(36.6%)増加した。

罪種別にみると、殺人が減少したが、殺人以外の罪種は増加した。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和3年	令和2年	増 減	
			件 数	率
総 数	97	71	26	36.6
殺 人	6	12	-6	-50.0
強 盗	13	10	3	30.0
放 火	8	7	1	14.3
強 制 性 交 等	23	15	8	53.3
略取誘拐・人身売買	3	-	3	-
強 制 わ い せ つ	44	27	17	63.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第3図のとおりで、平成24年以降減少傾向を示しており、平成27年以降は100件を下回っている。



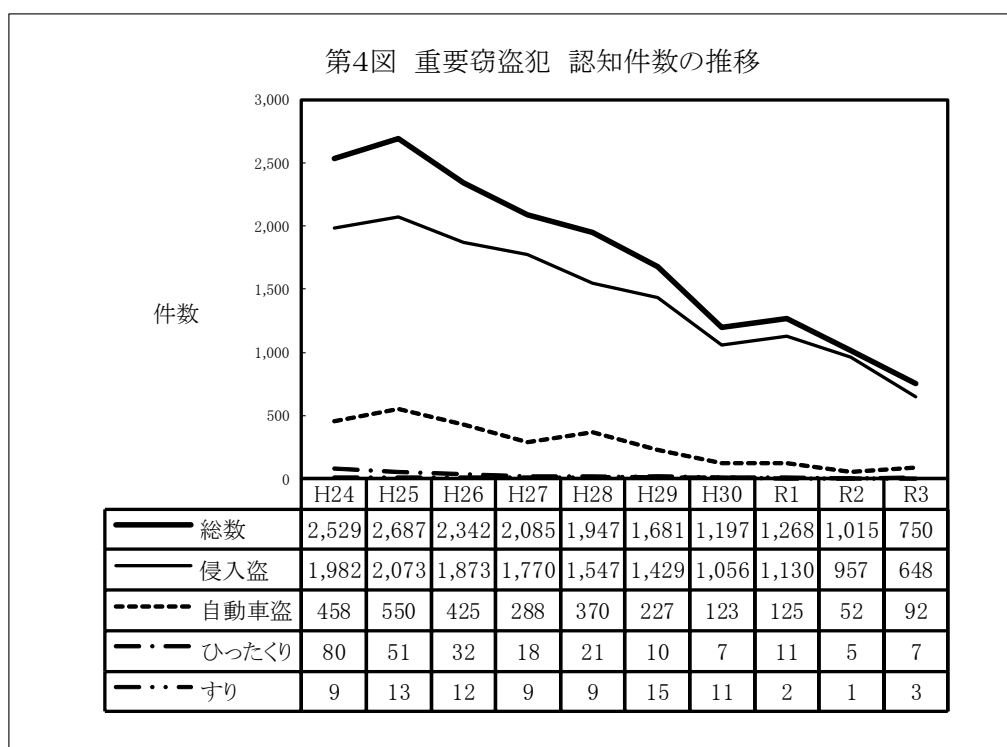
(イ) 重要窃盗犯

令和3年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり750件で、前年に比べ、265件(26.1%)減少した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和3年	令和2年	増 減	
			件 数	率
総 数	750	1,015	-265	-26.1
侵 入 盗	648	957	-309	-32.3
住宅対象	237	456	-219	-48.0
そ の 他	411	501	-90	-18.0
自 動 車 盗	92	52	40	76.9
ひ っ た く り	7	5	2	40.0
す り	3	1	2	200.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第4図のとおりで、平成26年以降は減少傾向を示している。令和3年は過去10年で最少の件数となった。



(ウ) 凶悪犯

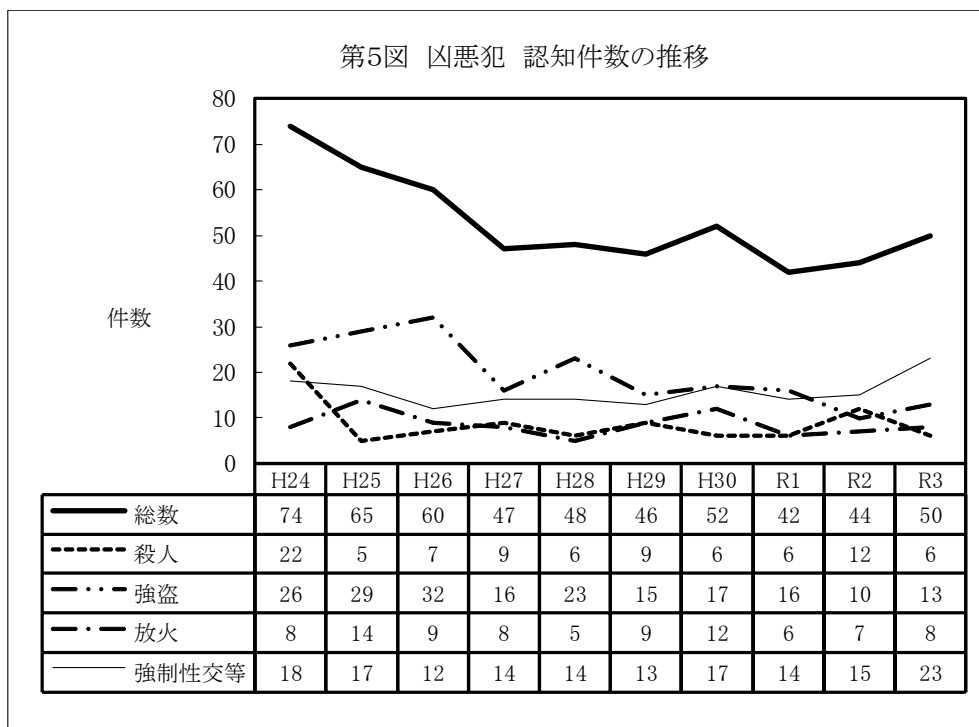
令和3年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり50件であった。

罪種別にみると、殺人が減少し、強盗、放火、強制性交等が増加した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪種	令和3年		令和2年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	50	100.0	44	100.0	6	13.6
殺人	6	12.0	12	27.3	-6	-50.0
強盗	13	26.0	10	22.7	3	30.0
放火	8	16.0	7	15.9	1	14.3
強制性交等	23	46.0	15	34.1	8	53.3

過去10年間の認知件数の推移をみると第5図のとおりである。平成24年以降、増加と減少を繰り返しているが、総数にあっては平成27年以降は50件前後を推移している。



(エ) 粗暴犯

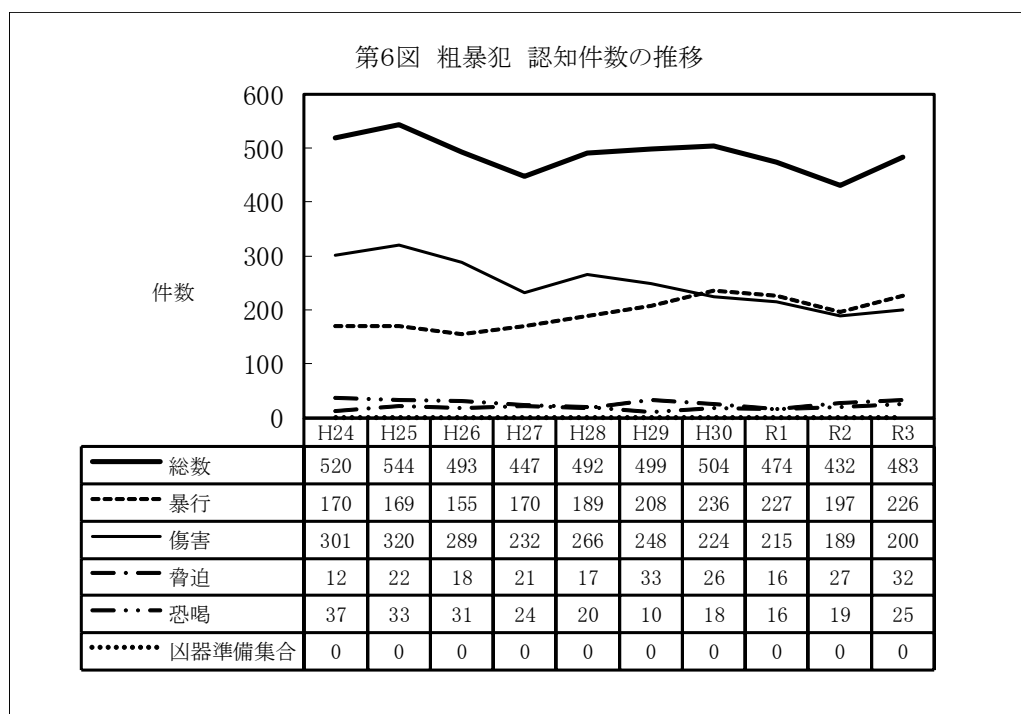
令和3年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり483件で、前年に比べ51件(11.8%)増加した。

罪種別にみると、暴行、傷害、脅迫、恐喝が増加した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪 種	令和3年		令和2年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	483	100.0	432	100.0	51	11.8
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴 行	226	46.8	197	45.6	29	14.7
傷 害	200	41.4	189	43.8	11	5.8
脅 迫	32	6.6	27	6.3	5	18.5
恐 喝	25	5.2	19	4.4	6	31.6

過去10年間の認知件数の推移をみると第6図のとおりで、平成24年以降、増加と減少を繰り返している。



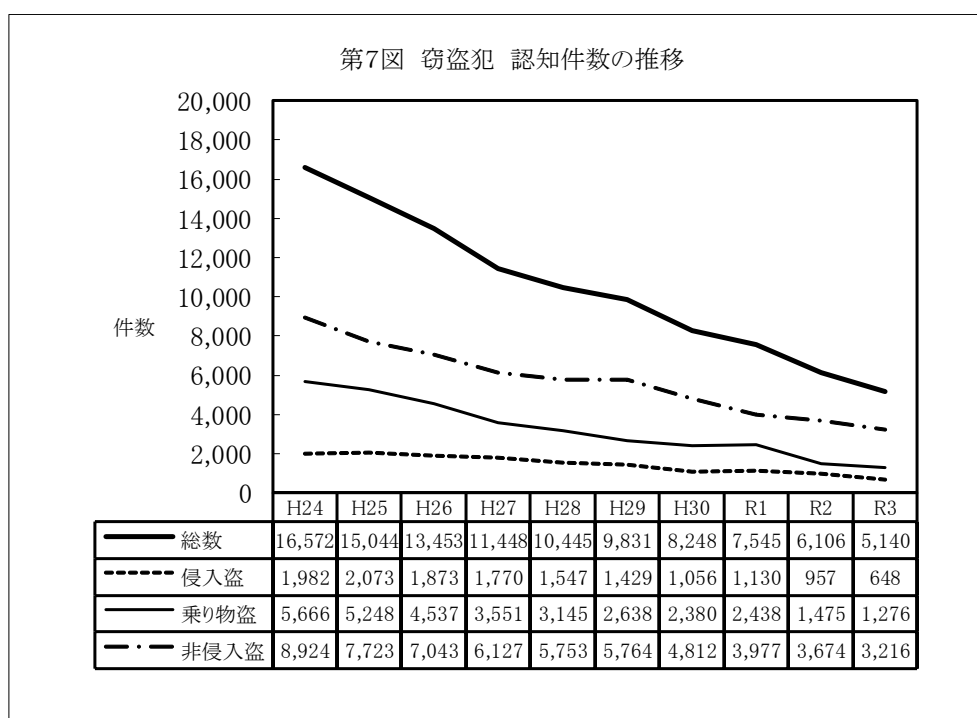
(オ) 窃盗犯

令和3年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり5,140件で、前年に比べ966件(15.8%)減少した。

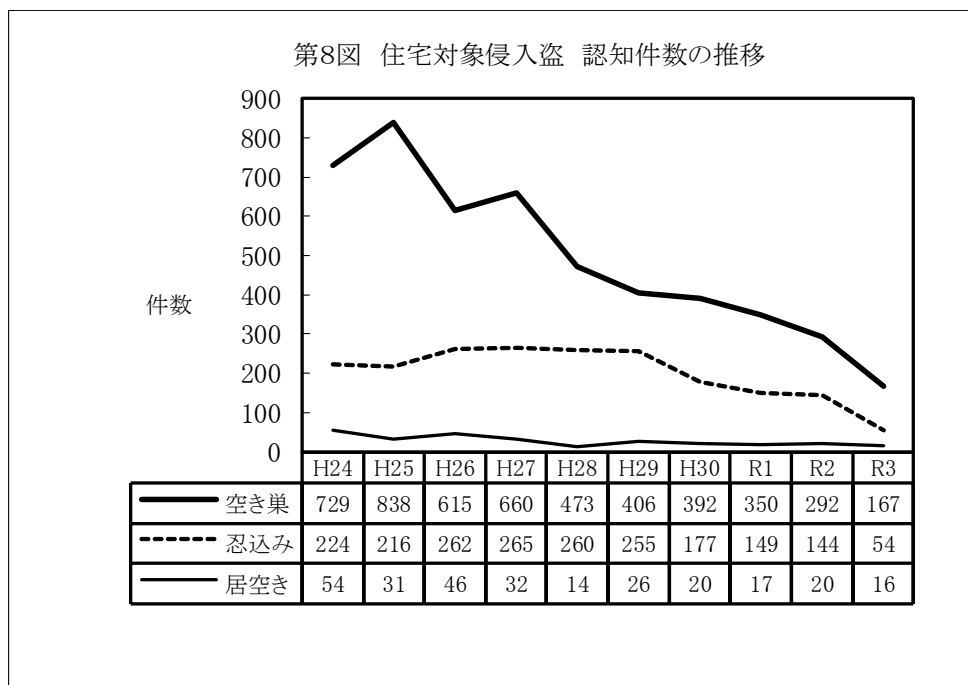
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和3年		令和2年		増 減	
	数	構成比	数	構成比	件数	率
総 数	5,140	100.0	6,106	100.0	-966	-15.8
侵 入 盗	648	12.6	957	15.7	-309	-32.3
乗 り 物 盗	1,276	24.8	1,475	24.2	-199	-13.5
非 侵 入 盗	3,216	62.6	3,674	60.2	-458	-12.5

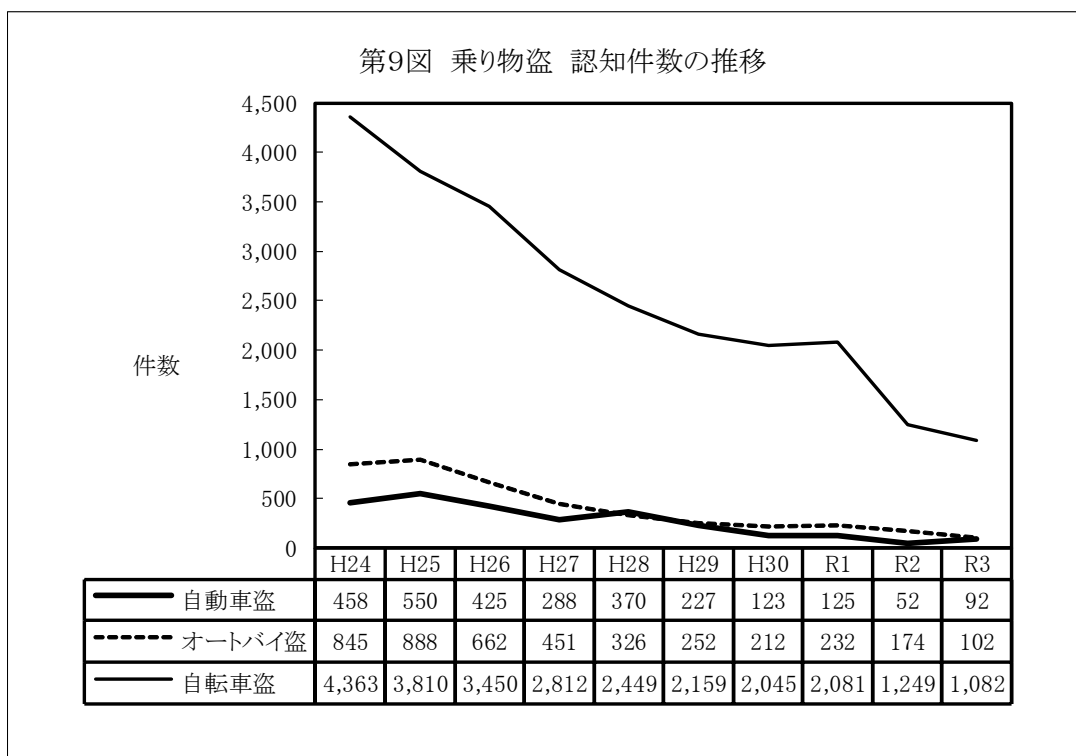
過去10年間の認知件数の推移をみると、第7図のとおりである。令和3年は、総数、侵入盗、乗り物盗、非侵入盗が過去10年で最少の件数となった。



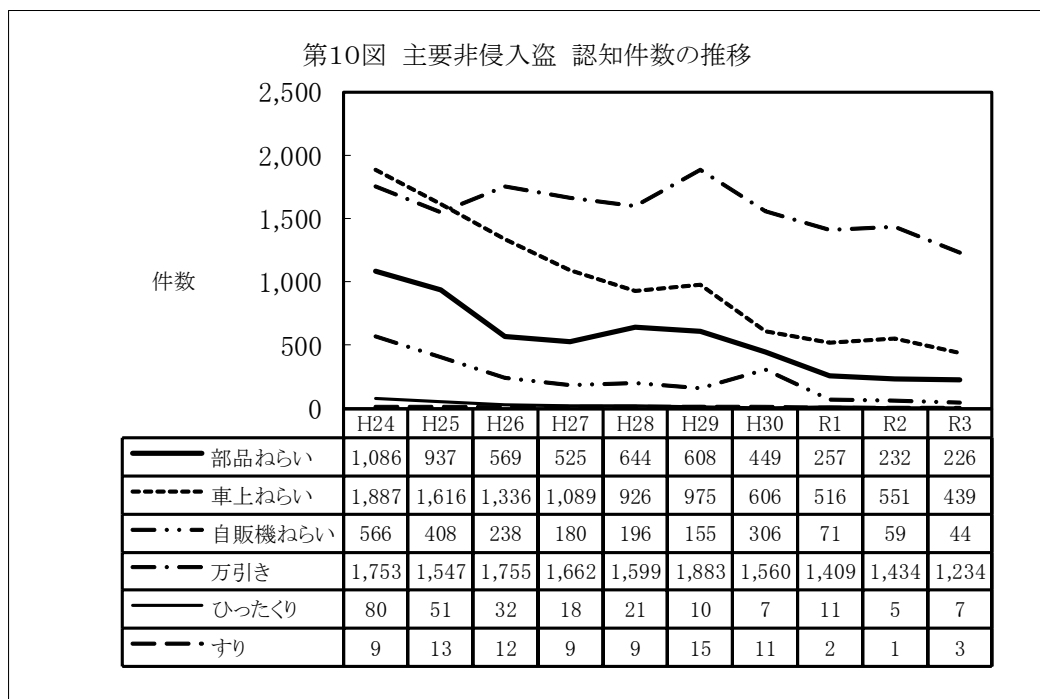
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると第8図のとおりである。令和3年は空き巣、忍込みが過去10年で最少の件数となった。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると第9図のとおりである。令和3年はオートバイ盗、自転車盗が過去10年で最少の件数となった。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおりである。令和3年は部品ねらい、車上ねらい、自販機ねらい、万引きが過去10年で最少の件数となった。



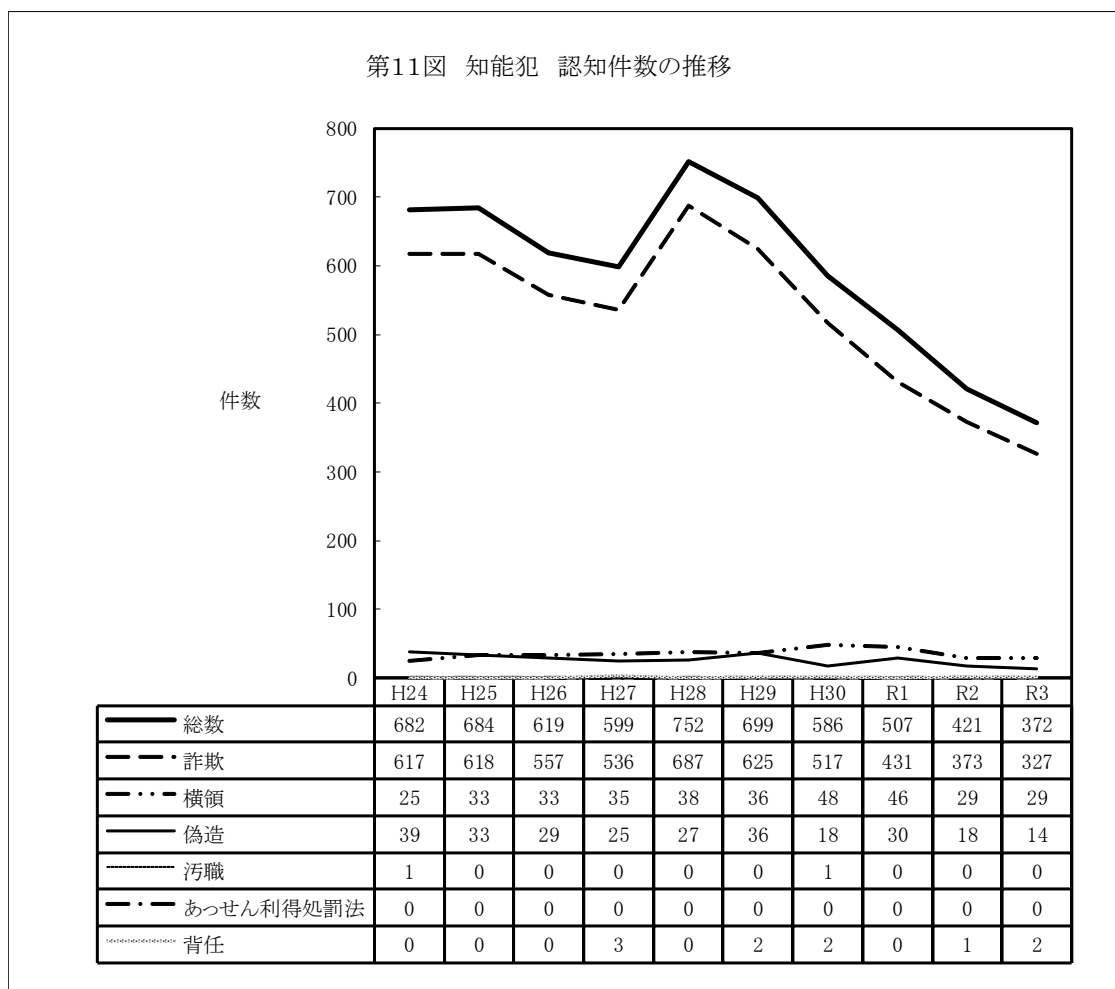
(カ) 知能犯

令和3年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり372件で、前年に比べ49件(11.6%)減少した。罪種別にみると、背任が増加し、詐欺、偽造が減少した。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪種	令和3年		令和2年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	372	100.0	421	100.0	-49	-11.6
詐欺	327	87.9	373	88.6	-46	-12.3
横領	29	7.8	29	6.9	±0	±0.0
偽造	14	3.8	18	4.3	-4	-22.2
汚職	—	—	—	—	—	—
あっせん利得処罰法	—	—	—	—	—	—
背任	2	0.5	1	0.2	1	100.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第11図のとおりで、平成29年以降、詐欺の認知件数は減少傾向を示しており、令和3年は過去10年で最少の件数となった。



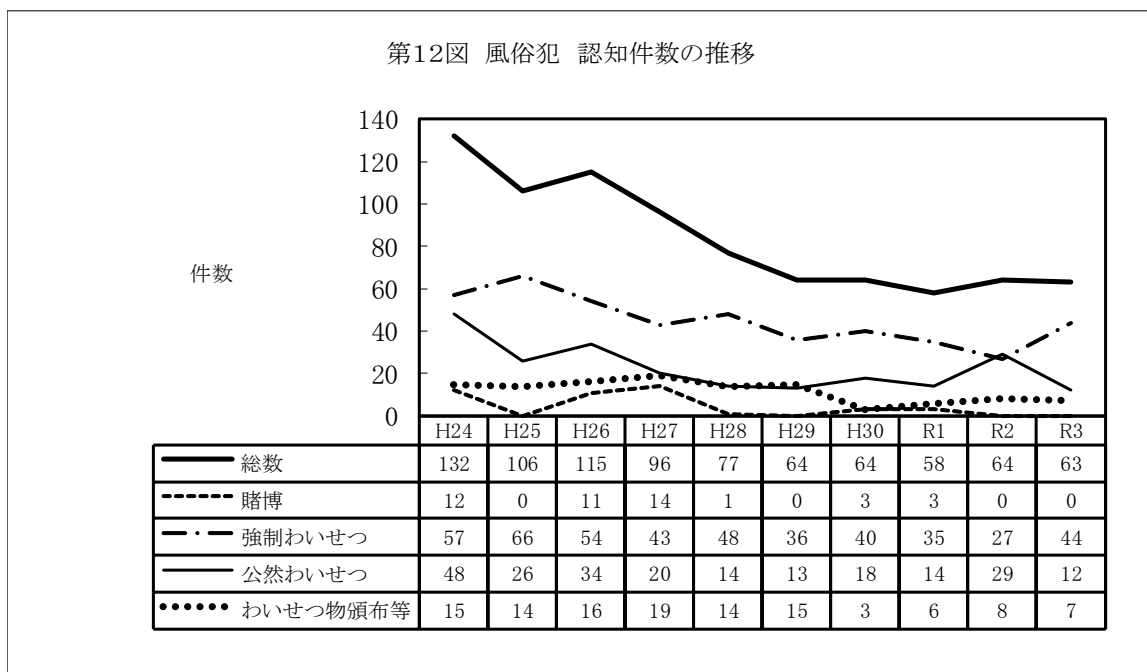
(キ) 風俗犯

令和3年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり63件で、前年に比べ1件(1.6%)減少した。

第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪種	令和3年		令和2年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	63	100.0	64	100.0	-1	-1.6
賭博	—	—	—	—	±0	±0.0
強制わいせつ	44	69.8	27	42.2	17	63.0
公然わいせつ	12	19.0	29	45.3	-17	-58.6
わいせつ物頒布等	7	11.1	8	12.5	-1	-12.5

過去10年間の認知件数の推移をみると第12図のとおりである。風俗犯は平成24年以降は減少傾向を示し、令和3年は公然わいせつが過去10年で最少の件数となった。



(ク) その他の刑法犯

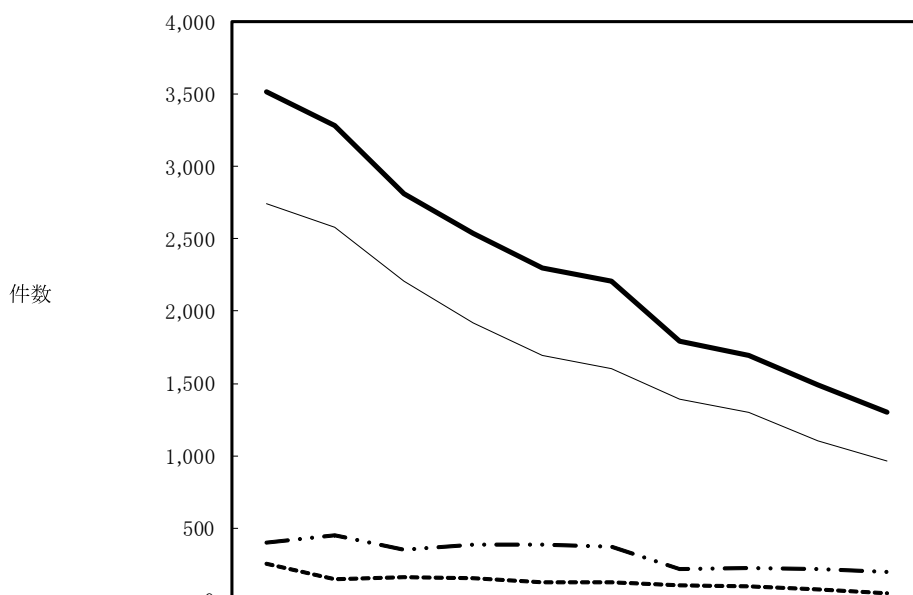
令和3年中のその他の刑法犯は、第9表のとおり1,302件で、前年に比べ191件(12.8%)減少した。占有離脱物横領、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊等が減少している。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和3年		令和2年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	1,302	100.0	1,493	100.0	-191	-12.8
うち) 略取誘拐・人身売買	3	—	—	—	3	—
うち) 占有離脱物横領	51	3.9	75	5.0	-24	-32.0
うち) 住 居 侵 入	198	15.2	213	14.3	-15	-7.0
うち) 逮 捕 監 禁	—	—	1	0.1	-1	-100.0
うち) 器 物 損 壊 等	963	74.0	1,103	73.9	-140	-12.7

過去10年間の認知件数の推移をみると第13図のとおりである。令和3年は総数、占有離脱物横領、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊等が過去10年で最少の件数となった。

第13図 その他の主要刑法犯 認知件数の推移



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
— 総数	3,513	3,283	2,810	2,541	2,298	2,207	1,793	1,696	1,493	1,302
- - - 占有離脱物横領	254	143	163	152	128	122	101	98	75	51
- · · 住居侵入	396	447	349	382	382	374	214	222	213	198
- · - 逮捕監禁	1	2	1	2	3	2	1	1	1	0
— 器物損壊等	2,740	2,578	2,207	1,921	1,695	1,602	1,394	1,297	1,103	963
····· 略取誘拐・人身売買	2	0	1	1	2	3	6	0	0	3

ウ 警察署別にみた刑法犯発生(認知)状況

令和3年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると、第10表のとおりで、前年と比べ、全18警察署のうち、3警察署で増加し、15警察署で減少した。

○ 前年に比べ増加した警察署 …………… 四日市西、熊野及び伊賀警察署

○ 前年に比べ減少した警察署 …………… 桑名、いなべ、四日市北、四日市南、
 亀山、鈴鹿、津、津南、松阪、大台、伊勢、鳥羽、尾鷲、紀宝及び名張警察署

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和3年	令和2年	増減数	増減率
桑 名	640	652	-12	-1.8
い な べ	214	244	-30	-12.3
四 日 市 北	613	704	-91	-12.9
四 日 市 南	920	1,039	-119	-11.5
四 日 市 西	205	202	3	1.5
亀 山	187	198	-11	-5.6
鈴 鹿	1,068	1,297	-229	-17.7
津	804	1,063	-259	-24.4
津 南	362	462	-100	-21.6
松 阪	766	958	-192	-20.0
大 台	34	63	-29	-46.0
伊 勢	617	671	-54	-8.0
鳥 羽	178	188	-10	-5.3
尾 鷲	54	119	-65	-54.6
熊 野	45	41	4	9.8
紀 宝	50	90	-40	-44.4
伊 賀	396	305	91	29.8
名 張	257	264	-7	-2.7
総 数	7,410	8,560	-1,150	-13.4

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体の被害

令和3年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の総数は第11表のとおり、241人で、前年に比べ6人(2.6%)増加した。

また、県民一人当たりで見ると、1.4人(前年1.3人)となっている。

第11表 死傷被害者数

罪 種	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
総 数	6	283	5	255	2	253	10	225	8	233
殺 人	5	5	3	3	1	5	6	5	1	5
強盗・強姦性交等	—	12	—	8	—	12	—	9	—	4
傷 害・同 致 死	1	254	—	233	1	223	1	205	2	212
過 失 致 死 傷	—	1	—	5	—	5	1	2	—	2
業 過(交を除く)	—	3	2	1	—	4	2	3	3	9
放 火・失 火	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
強 制 わ い せ つ	—	7	—	4	—	3	—	1	—	1
遺 棄	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
逮 捕 監 禁	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決闘罪ニ関スル件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産の被害

令和3年中に認知した財産犯(強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ)の被害総額は約14億円で、このうち現金被害額は約7億円(総額の49.1%)である。

これを罪種別にみると、第12表、第14図のとおりで、窃盗の被害が約9億円で、被害総額の61.9%を占めており、以下、詐欺、横領、恐喝、占有離脱物横領、強盗の順に被害額が多くなっている。

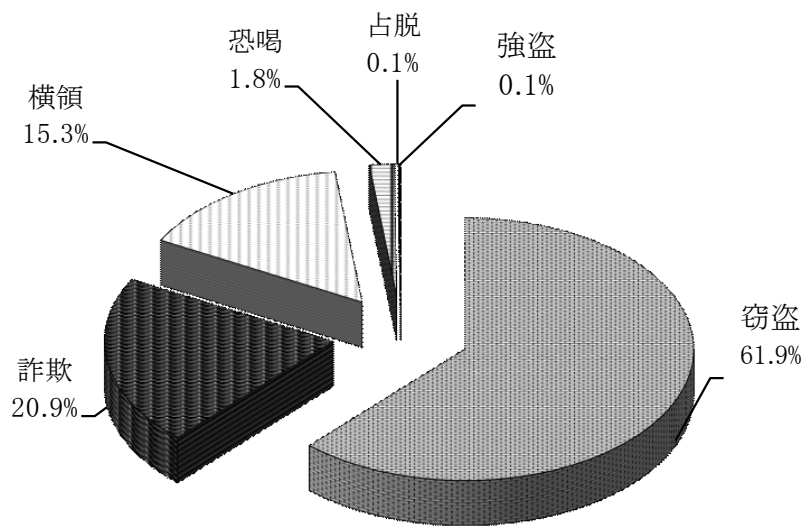
第12表 財産犯の被害額

[単位:千円]

罪 種	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金
総 数	1,578,453	562,041	1,455,265	792,377	1,197,053	639,166	1,291,092	612,817	1,414,555	695,233
強 盗	2,300	842	3,187	2,211	517	302	3,427	914	875	869
恐 喝	1,751	1,098	749	678	25,648	25,598	2,443	2,441	24,895	24,895
窃 盗	1,165,194	223,437	873,715	262,636	708,191	186,880	597,764	178,015	875,525	206,429
詐 欺	375,781	310,401	531,495	496,398	349,399	322,406	598,790	348,023	296,245	264,024
横 領	31,073	24,810	44,647	29,852	112,122	103,423	86,980	82,489	215,878	198,401
占 脱	2,354	1,453	1,472	602	1,176	557	1,688	935	1,137	615

注:「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和3年中の刑法犯検挙状況は第13表のとおり、検挙件数は、3,421件、検挙人員は1,846人で、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

包括罪種別に前年と比較すると、粗暴犯の検挙件数、検挙人員が増加した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	3,421	3,591	-170	-4.7	1,846	1,863	-17	-0.9
凶 悪 犯	49	47	2	4.3	40	51	-11	-21.6
粗 暴 犯	404	360	44	12.2	406	357	49	13.7
窃 盗 犯	2,259	2,486	-227	-9.1	1,010	1,059	-49	-4.6
知 能 犯	291	299	-8	-2.7	183	141	42	29.8
風 俗 犯	54	55	-1	-1.8	39	43	-4	-9.3
そ の 他	364	344	20	5.8	168	212	-44	-20.8

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。検挙件数は平成25年をピークに減少傾向を示しており、令和3年は過去10年で最少の検挙件数となった。また、検挙人員は、平成24年以降は減少傾向を示しており、令和3年は成人、少年ともに過去10年で最少の検挙人員となった。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	
検 挙 件 数	5,471	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	
検 挙 人 員	総 数	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846
	成 人	2,157	1,855	1,877	1,890	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688	1,674
	少 年	741	593	570	388	294	248	240	215	175	172
構 成 比	25.6	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	

注：検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員1,846人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、10歳代、40歳代の人員が過去10年間で最少の人員となった。

第15表 刑法犯犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
総 数	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846
14～19歳	750	600	577	397	296	259	245	219	180	178
20～29歳	447	308	335	291	319	327	289	290	324	301
30～39歳	373	359	324	322	316	318	314	262	267	265
40～49歳	390	343	334	350	380	339	352	326	302	291
50歳以上	938	838	877	918	848	950	1,010	841	790	811

イ 罪種別にみた検挙状況

(ア) 重要犯罪

令和3年中の重要犯罪の検挙は第16表のとおり、検挙件数は87件、検挙人員は72人、検挙率は89.7%であった。検挙率は10.3ポイント下降した。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	令和 3年	令和 2年
			数	率				
総 数	87	71	16	22.5	72	70	89.7	100.0
殺 人	7	11	-4	-36.4	6	18	116.7	91.7
強 盗	13	14	-1	-7.1	12	13	100.0	140.0
放 火	7	6	1	16.7	3	4	87.5	85.7
強 制 性 交 等	22	16	6	37.5	19	16	95.7	106.7
略取誘拐・人身売買	2	—	2	—	4	—	66.7	—
強 制 わ い せ つ	36	24	12	50.0	28	19	81.8	88.9

(イ) 重要窃盗犯

令和3年中の重要窃盗犯の検挙は第17表のとおり、検挙件数は690件、検挙人員は94人、検挙率は92.0%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。検挙率は前年より32.0ポイント上昇した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	令和 3年	令和 2年
			数	率				
総 数	690	609	81	13.3	94	82	92.0	60.0
侵 入 盗	670	549	121	22.0	82	69	103.4	57.4
住宅対象	448	159	289	181.8	37	28	189.0	34.9
そ の 他	222	390	-168	-43.1	45	41	54.0	77.8
自 動 車 盗	16	56	-40	-71.4	7	11	17.4	107.7
ひ っ た く り	3	1	2	200.0	4	1	42.9	20.0
す り	1	3	-2	-66.7	1	1	33.3	300.0

(ウ) 凶悪犯

令和3年中の凶悪犯の検挙は、第18表のとおり、前年に比べ、検挙件数が増加し、検挙人員は減少した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	49	47	2	4.3	40	51	-11	-21.6
殺 人	7	11	-4	-36.4	6	18	-12	-66.7
強 盗	13	14	-1	-7.1	12	13	-1	-7.7
放 火	7	6	1	16.7	3	4	-1	-25.0
強制性交等	22	16	6	37.5	19	16	3	18.8

(エ) 粗暴犯

令和3年中の粗暴犯の検挙は、第19表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	404	360	44	12.2	406	357	49	13.7
凶器準備集合	-	-	-	-	-	-	-	-
暴 行	192	178	14	7.9	187	172	15	8.7
傷 害	162	147	15	10.2	168	154	14	9.1
脅 迫	27	21	6	28.6	25	16	9	56.3
恐 喝	23	14	9	64.3	26	15	11	73.3

(オ) 窃盗犯

令和3年中の窃盗犯の検挙は第20表のとおりである。前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。検挙件数を手口別にみると、空き巣、忍込み、車上ねらいの増加が目立ち、万引き、事務所荒しが大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,259	2,486	-227	-9.1	1,010	1,059	-49	-4.6
侵 入 盗	670	549	121	22.0	82	69	13	18.8
空 き 巣	236	106	130	122.6	27	20	7	35.0
忍 込 み	208	45	163	362.2	9	5	4	80.0
居 空 き	4	8	-4	-50.0	1	3	-2	-66.7
金 庫 破 り	6	20	-14	-70.0	6	1	5	500.0
学 校 荒 し	3	4	-1	-25.0	2	-	2	-
事 務 所 荒 し	31	102	-71	-69.6	3	1	2	200.0
出 店 荒 し	40	79	-39	-49.4	4	20	-16	-80.0
そ の 他	142	185	-43	-23.2	30	19	11	57.9
乗 り 物 盗	115	138	-23	-16.7	59	66	-7	-10.6
自 動 車 盗	16	56	-40	-71.4	7	11	-4	-36.4
オ ー ト バ イ 盗	28	23	5	21.7	11	20	-9	-45.0
自 転 車 盗	71	59	12	20.3	41	35	6	17.1
非 侵 入 盗	1,474	1,799	-325	-18.1	869	924	-55	-6.0
部 品 ね ら い	12	35	-23	-65.7	4	4	±0	±0.0
車 上 ね ら い	208	155	53	34.2	10	9	1	11.1
ひ っ た く り	3	1	2	200.0	4	1	3	300.0
す り	1	3	-2	-66.7	1	1	±0	±0.0
自 動 販 売 機 ね ら い	9	2	7	350.0	1	1	±0	±0.0
万 引 き	773	938	-165	-17.6	632	682	-50	-7.3
置 引 き	92	100	-8	-8.0	80	76	4	5.3
そ の 他	376	565	-189	-33.5	137	150	-13	-8.7

(カ) 知能犯

令和3年中の知能犯の検挙は、第21表のとおり、前年に比べ検挙件数が減少し、検挙人員が増加した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	291	299	-8	-2.7	183	141	42	29.8
詐 欺	259	255	4	1.6	153	108	45	41.7
横 領	18	29	-11	-37.9	16	21	-5	-23.8
偽 造	12	14	-2	-14.3	13	11	2	18.2
汚 職	-	-	-	-	-	-	-	-
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-	-	-
背 任	2	1	1	100.0	1	1	±0	±0.0

(キ) 風俗犯

令和3年中の風俗犯の検挙は、第22表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	54	55	-1	-1.8	39	43	-4	-9.3
賭 博	-	-	-	-	-	-	-	-
強制わいせつ	36	24	12	50.0	28	19	9	47.4
公然わいせつ	13	25	-12	-48.0	9	19	-10	-52.6
わいせつ物頒布等	5	6	-1	-16.7	2	5	-3	-60.0

(ク) その他の刑法犯

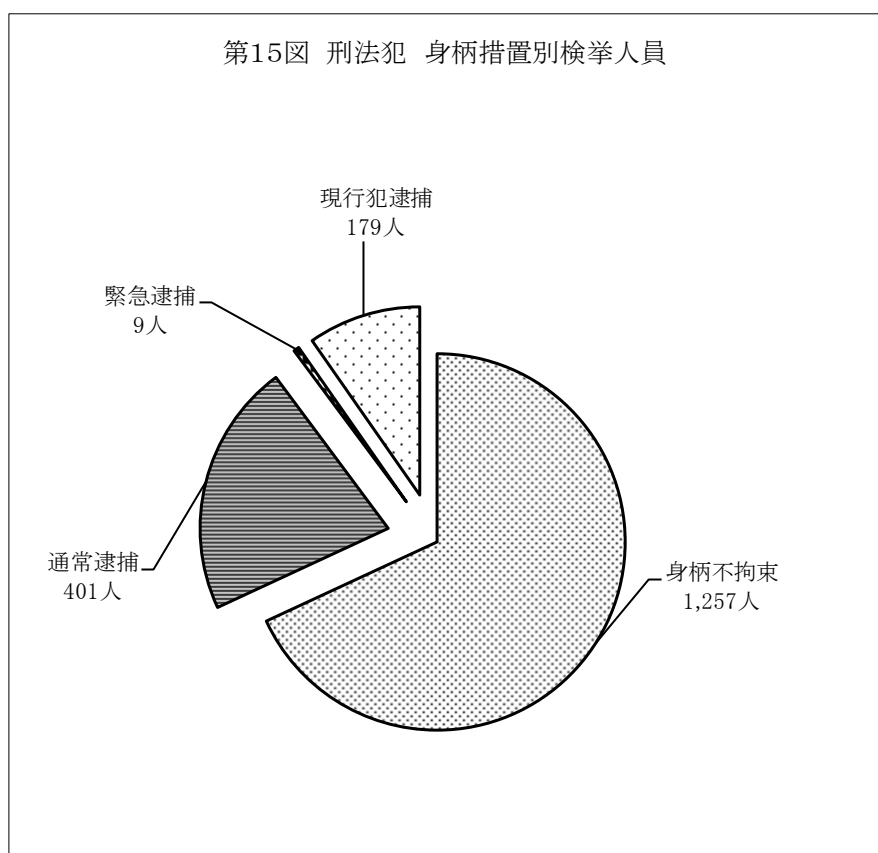
令和3年中のその他の刑法犯の検挙は、第23表のとおり、前年に比べ検挙件数は増加し、検挙人員は減少した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	364	344	20	5.8	168	212	-44	-20.8
うち) 略取誘拐・人身売買	2	-	2	-	4	-	4	-
うち) 占有離脱物横領	42	69	-27	-39.1	42	66	-24	-36.4
うち) 住 居 侵 入	112	84	28	33.3	22	36	-14	-38.9
うち) 逮 捕 監 禁	1	1	±0	±0.0	2	4	-2	-50.0
うち) 器 物 損 壊 等	148	118	30	25.4	55	41	14	34.1

ウ 身柄措置別検挙状況

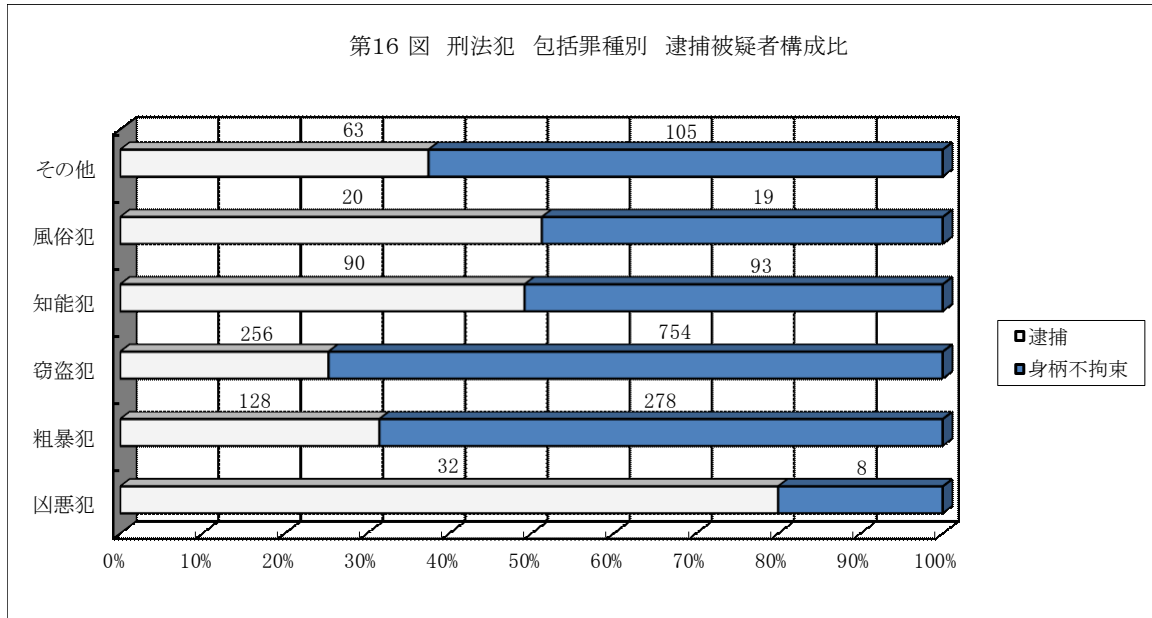
令和3年中の刑法犯検挙人員1,846人を身柄措置別にみると、第15図、第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,257人、逮捕人員は589人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	逮 捕 計		
					現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和3	1,846	1,257	589	179	9	401
	令和2	1,863	1,230	633	200	21	412
	増減数	-17	+27	-44	-21	-12	-11
凶 悪 犯	令和3	40	8	32	8	2	22
	令和2	51	3	48	5	3	40
	増減数	-11	+5	-16	+3	-1	-18
粗 暴 犯	令和3	406	278	128	38	4	86
	令和2	357	227	130	49	1	80
	増減数	+49	+51	-2	-11	+3	+6
窃 盗 犯	令和3	1,010	754	256	91	2	163
	令和2	1,059	787	272	100	10	162
	増減数	-49	-33	-16	-9	-8	+1
うち) 侵入盗	令和3	82	14	68	8	-	60
	令和2	69	12	57	7	2	48
	増減数	+13	+2	+11	+1	-2	+12
知 能 犯	令和3	183	93	90	9	-	81
	令和2	141	56	85	13	1	71
	増減数	+42	+37	+5	-4	-1	+10
風 俗 犯	令和3	39	19	20	3	-	17
	令和2	43	22	21	1	1	19
	増減数	-4	-3	-1	+2	-1	-2
そ の 他	令和3	168	105	63	30	1	32
	令和2	212	135	77	32	5	40
	増減数	-44	-30	-14	-2	-4	-8

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは窃盗犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和3年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は第25表のとおり、1,652件で、前年に比べ376件(18.5%)減少した。包括罪種別にみると、風俗犯では被害の約96%、凶悪犯では被害の約57%が女性である。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区分	令和3年			令和2年			増減		
	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	ポイント
総数	4,883	1,652	33.8	5,762	2,028	35.2	-879	-376	-1.4
凶悪犯	44	25	56.8	42	26	61.9	2	-1	-5.1
粗暴犯	482	219	45.4	430	205	47.7	52	14	-2.3
窃盗犯	3,136	920	29.3	3,845	1,225	31.9	-709	-305	-2.6
侵入盗	434	125	28.8	689	208	30.2	-255	-83	-1.4
乗り物盗	1,238	329	26.6	1,450	421	29.0	-212	-92	-2.4
非侵入盗	1,464	466	31.8	1,706	596	34.9	-242	-130	-3.1
知能犯	196	99	50.5	248	122	49.2	-52	-23	1.3
風俗犯	52	50	96.2	41	38	92.7	11	12	3.5
その他	973	339	34.8	1,156	412	35.6	-183	-73	-0.8

女性被害に係る刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成24年以降、減少傾向を示しており、令和3年には過去10年で最少の件数となった。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	5,393	4,952	4,142	3,387	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028	1,652
凶 悪 犯	31	32	25	27	24	27	21	19	26	25
粗 暴 犯	147	184	160	166	198	226	225	204	205	219
窃 盗 犯	4,184	3,675	3,040	2,371	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225	920
侵入盗	346	430	374	313	269	270	188	234	208	125
乗り物盗	2,026	1,727	1,461	1,142	931	842	725	777	421	329
非侵入盗	1,812	1,518	1,205	916	870	859	755	633	596	466
知 能 犯	90	159	158	168	146	190	121	115	122	99
風 俗 犯	87	82	61	48	51	41	49	38	38	50
そ の 他	854	820	698	607	600	580	503	446	412	339

令和3年中における刑法犯検挙人員のうち、女性の検挙人員は第27表のとおり、401人で、前年に比べ、28人(6.5%)減少した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は21.7%で、前年に比べ1.3ポイント下降した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	604	544	517	508	462	487	488	458	429	401
凶 悪 犯	6	6	4	3	6	6	3	3	4	4
粗 暴 犯	15	30	16	20	28	24	28	39	39	35
窃 盗 犯	501	436	436	425	376	406	375	368	326	306
侵入盗	6	8	1	6	3	1	2	4	1	6
乗り物盗	19	14	7	12	7	4	2	10	3	1
非侵入盗	476	414	428	407	366	401	371	354	322	299
知 能 犯	44	42	35	25	28	32	46	33	33	39
風 俗 犯	4	4	4	4	4	1	14	-	-	-
そ の 他	34	26	22	31	20	18	22	15	27	17

オ 高齢者に係る犯罪

令和3年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は第28表のとおり、849件で、前年に比べ212件(20.0%)の減少となった。

刑法犯全体に占める高齢者被害の割合は11.5%で、前年に比べ、0.9ポイント下降した。

高齢者被害に係る刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、令和3年は知能犯に占める高齢者の割合が過去10年間で最高の構成比となった。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	2,150	2,170	2,016	1,696	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061	849
構成比	10.0	11.0	11.5	11.2	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4	11.5
凶 悪 犯	10	5	10	7	2	8	8	6	6	1
構成比	13.5	7.7	16.7	14.9	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6	2.0
粗 暴 犯	24	29	37	26	35	35	40	45	46	50
構成比	4.6	5.3	7.5	5.8	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6	10.4
窃 盗 犯	1,684	1,631	1,510	1,263	1,140	1,096	831	857	715	517
構成比	10.2	10.8	11.2	11.0	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7	10.1
知 能 犯	65	123	109	124	139	105	83	79	82	91
構成比	9.5	18.0	17.6	20.7	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5	24.5
風 俗 犯	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
構成比	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	-
そ の 他	367	382	350	276	305	279	230	256	212	190
構成比	10.4	11.6	12.5	10.9	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2	14.6

* 構成比は刑法犯認知件数に占める高齢者被害の件数の割合をいう。

令和3年中における刑法犯検挙人員のうち、高齢者の検挙人員は第29表のとおり、417人で、全体に占める割合は22.6%である。

第29表 高齢者検挙人員の推移

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	464	419	470	495	486	510	558	457	425	417
構成比	16.0	17.1	19.2	21.7	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8	22.6
凶 悪 犯	4	3	3	3	2	5	4	4	4	3
構成比	7.0	7.7	5.6	7.3	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8	7.5
粗 暴 犯	27	31	32	43	34	44	59	55	43	51
構成比	7.7	8.9	9.4	12.7	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0	12.6
窃 盗 犯	380	336	388	391	400	415	405	340	332	318
構成比	20.7	22.0	25.7	27.3	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4	31.5
知 能 犯	7	19	19	13	11	17	26	16	13	14
構成比	3.4	8.9	9.6	8.8	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2	7.7
風 俗 犯	8	5	3	4	8	3	31	5	3	6
構成比	8.9	7.6	3.9	7.4	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0	15.4
そ の 他	38	25	25	41	31	26	33	37	30	25
構成比	10.7	10.0	9.3	15.6	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2	14.9

* 構成比は刑法犯検挙人員に占める高齢被疑者の割合をいう。

2 特別法犯検挙状況

令和3年中における特別法犯の検挙状況をみると、検挙件数は645件、検挙人員は457人で、前年に比べ、検挙件数は53件(9.0%)増加し、検挙人員は20人(4.6%)増加した。

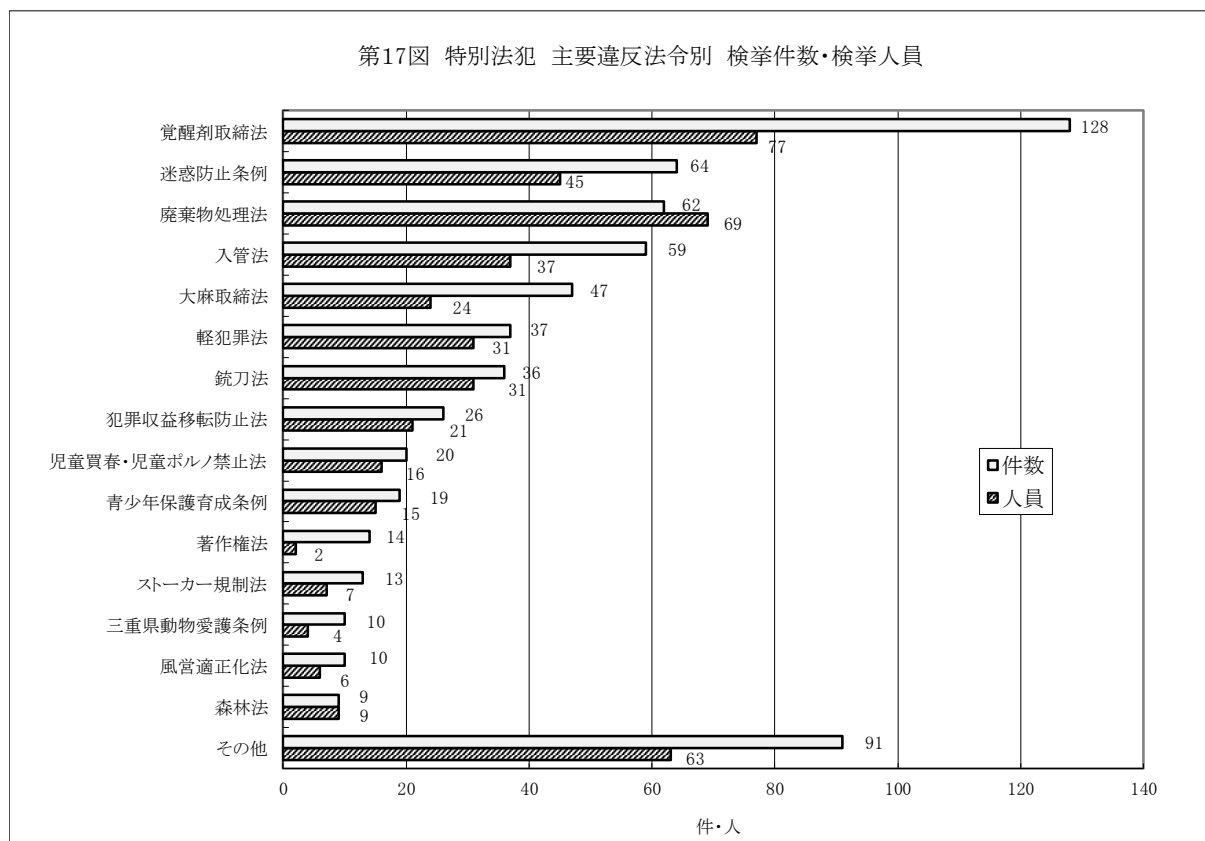
違反法令別に前年と比較すると、検挙件数は第30表のとおり、迷惑防止条例、著作権法等が増加し、犯罪収益移転防止法、覚醒剤取締法等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
公 職 選 挙 法	4	-	4	4	-	4
政 治 資 金 規 正 法	-	2	-2	-	-	±0
入 管 法	59	65	-6	37	48	-11
軽 犯 罪 法	37	40	-3	31	33	-2
迷 惑 防 止 条 例	64	39	25	45	34	11
動 物 愛 護 管 理 法	3	5	-2	4	6	-2
ス ト ー カ ー 規 制 法	13	4	9	7	1	6
D V 法	-	1	-1	-	-	±0
特殊開錠用具所持禁止法	1	-	1	-	-	±0
私事性的画像被害防止法	-	1	-1	-	1	-1
風 営 適 正 化 法	10	6	4	6	5	1
売 春 防 止 法	1	-	1	-	-	±0
児 童 福 祉 法	-	1	-1	-	1	-1
未 成 年 者 喫 煙 禁 止 法	5	11	-6	5	11	-6
青 少 年 保 護 育 成 条 例	19	15	4	15	12	3
児童買春・児童ポルノ禁止法	20	16	4	16	10	6
出 資 法	1	-	1	-	-	±0
貸 金 業 法	1	-	1	-	-	±0
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	26	43	-17	21	22	-1
宅 建 法	-	1	-1	-	1	-1
建 設 業 法	1	-	1	-	-	±0
銃 刀 法	36	31	5	31	23	8
狩 猟 法	6	1	5	2	1	1
麻 薬 等 取 締 法	7	7	±0	3	5	-2
あ へ ん 法	2	-	2	-	-	±0

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
大 麻 取 締 法	47	45	2	24	31	-7
覚 醒 剤 取 締 法	128	142	-14	77	79	-2
医 薬 品 医 療 機 器 等 法	2	1	1	2	2	±0
毒 劇 物 法	2	6	-4	2	6	-4
麻 薬 等 特 例 法	-	1	-1	-	-	±0
食 品 衛 生 法	1	-	1	-	-	±0
理 容 師 法	1	-	1	-	-	±0
廃 棄 物 処 理 法	62	66	-4	69	75	-6
狂 犬 病 予 防 法	9	5	4	8	5	3
建 設 資 材 再 資 源 化 法	3	-	3	1	-	1
地 方 税 法	-	7	-7	-	9	-9
文 化 財 保 護 法	1	-	1	1	-	1
労 働 基 準 法	-	3	-3	-	2	-2
不 正 競 争 防 止 法	1	-	1	1	-	1
労 働 者 派 遣 法	-	1	-1	-	-	±0
割 賦 販 売 法	1	-	1	1	-	1
特 定 商 取 引 法	2	-	2	2	-	2
森 林 法	9	1	8	9	1	8
漁 業 法	7	3	4	7	3	4
船 舶 職 員 法	1	-	1	1	-	1
電 波 法	3	1	2	3	1	2
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法	7	3	4	3	2	1
地 方 公 務 員 法	-	1	-1	-	1	-1
会 社 法	1	-	1	-	-	±0
商 標 法	4	9	-5	1	2	-1
著 作 権 法	14	-	14	2	-	2
民 事 執 行 法	6	-	6	6	-	6
労 働 施 策 総 合 推 進 法	1	-	1	-	-	±0
国 民 生 活 安 定 緊 急 措 置 法	-	1	-1	-	1	-1
四 日 市 市 廃 棄 物 の 減 量 及 び 適 正 処 理 に 関 する 条 例	1	1	±0	1	1	±0
四 日 市 市 客 引 き 行 為 等 の 防 止 に 関 する 条 例	2	1	1	2	2	±0
伊 賀 市 廃 棄 物 の 処 理 及 び 清 掃 に 関 する 条 例	1	-	1	1	-	1
三 重 県 漁 業 調 整 規 則	2	-	2	2	-	2
三 重 県 動 物 の 愛 護 及 び 管 理 に 関 する 条 例	10	5	5	4	-	4
総 数	645	592	53	457	437	20

違反法令別にみると、第17図のとおりで、検挙件数、検挙人員とも、覚醒剤取締法、迷惑防止条例、廃棄物処理法が上位を占めている。



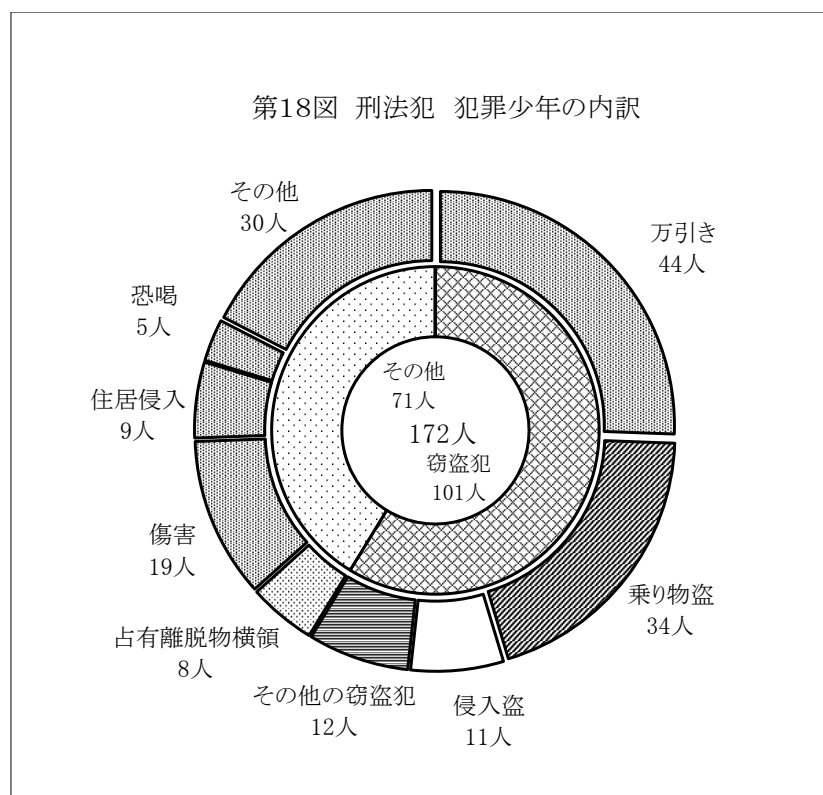
3 少年犯罪の状況

(1) 令和3年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり172人で前年に比べ3人(1.7%)減少した。罪種別にみると、窃盗犯、風俗犯、その他の刑法犯が減少した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和3年		令和2年		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人員	率
総数	172	100.0	175	100.0	-3	-1.7
凶悪犯	6	3.5	4	2.3	2	50.0
粗暴犯	27	15.7	14	8.0	13	92.9
窃盗犯	101	58.7	106	60.6	-5	-4.7
知能犯	5	2.9	5	2.9	±0	±0.0
風俗犯	3	1.7	4	2.3	-1	-25.0
その他	30	17.4	42	24.0	-12	-28.6

また、第18図のとおり、窃盗犯の少年が犯罪少年全体の約6割を占めている。特に万引き、乗り物盗の占める率が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第32表のとおりで、平成24年をピークに減少傾向であり、令和3年は過去10年において少年の構成比が最も小さい。

第32表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846
うち)少年	741	593	570	388	294	248	240	215	175	172
構成比	25.6	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3

(3) 令和3年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第33表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、鈴鹿警察署の20.1%で、大台、尾鷲、熊野及び紀宝警察署は少年の検挙がなかった。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分		平 29	平 30	令 元	令 2	令 3	区 分		平 29	平 30	令 元	令 2	令 3
総 数	総 数	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	松 阪 大 台 伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	249	269	211	218	188
	うち)少年	248	240	215	175	172		うち)少年	25	24	19	20	5
	構成比	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3		構成比	10.0	8.9	9.0	9.2	2.7
桑 名	総 数	153	124	139	116	153	大 台 伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	13	12	13	16	2
	うち)少年	12	13	15	9	11		うち)少年	-	1	-	5	-
	構成比	7.8	10.5	10.8	7.8	7.2		構成比	-	8.3	-	31.3	-
い な べ	総 数	64	49	65	60	68	伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	143	216	160	159	209
	うち)少年	2	4	3	5	11		うち)少年	27	23	20	9	12
	構成比	3.1	8.2	4.6	8.3	16.2		構成比	18.9	10.6	12.5	5.7	5.7
四 北 四 南	総 数	175	176	134	177	137	鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	48	51	66	57	49
	うち)少年	15	16	18	9	10		うち)少年	8	5	7	3	2
	構成比	8.6	9.1	13.4	5.1	7.3		構成比	16.7	9.8	10.6	5.3	4.1
四 南	総 数	270	220	200	197	175	尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	39	41	46	33	26
	うち)少年	23	19	16	21	18		うち)少年	6	6	2	1	-
	構成比	8.5	8.6	8.0	10.7	10.3		構成比	15.4	14.6	4.3	3.0	-
西 亀	総 数	74	86	66	44	55	熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	29	31	16	15	24
	うち)少年	5	10	5	7	8		うち)少年	2	1	2	1	-
	構成比	6.8	11.6	7.6	15.9	14.5		構成比	6.9	3.2	12.5	6.7	-
山 鈴 鹿	総 数	57	53	66	67	64	紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	18	12	3	9	19
	うち)少年	4	3	16	7	4		うち)少年	4	3	-	-	-
	構成比	7.0	5.7	24.2	10.4	6.3		構成比	22.2	25.0	-	-	-
津 南	総 数	304	285	286	266	273	伊 賀 名 張 本 部	総 数	93	108	79	61	58
	うち)少年	47	52	47	29	55		うち)少年	6	13	7	7	10
	構成比	15.5	18.2	16.4	10.9	20.1		構成比	6.5	12.0	8.9	11.5	17.2
津 南	総 数	266	256	188	164	179	名 張 本 部	総 数	86	74	80	99	64
	うち)少年	37	22	18	15	6		うち)少年	16	8	11	14	7
	構成比	13.9	8.6	9.6	9.1	3.4		構成比	18.6	10.8	13.8	14.1	10.9
津 南	総 数	112	147	120	105	103	本 部	総 数	-	-	-	-	-
	うち)少年	9	17	9	13	13		うち)少年	-	-	-	-	-
	構成比	8.0	11.6	7.5	12.4	12.6		構成比	-	-	-	-	-

(4) 触法少年を除く少年犯罪の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第34表のとおりで、14歳から16歳までの低年齢層が約7割を占めていたが、令和元年以降は約5割となっている。

第34表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14~19歳)

区 分	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総数	750	600	577	397	296	259	245	219	180	178
14歳	124	127	87	59	45	36	33	43	19	21
15歳	193	147	171	84	63	32	52	30	27	25
16歳	189	151	126	106	60	53	59	43	47	40
17歳	130	91	93	68	58	54	34	41	33	46
18歳	62	40	63	51	36	47	38	41	36	21
19歳	52	44	37	29	34	37	29	21	18	25

注:本表の検挙人員については、犯行時が少年で処理時が成人の場合を含む。

4 暴力団犯罪の状況

(1) 令和3年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおり、検挙件数は226件、検挙人員は113人で、前年に比べ、検挙件数は54件(19.3%)減少し、検挙人員は6人(5.0%)減少した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
総 数	件数	225	673	256	314	280	226
	人員	151	140	188	136	119	113
刑 法 犯	件数	139	589	190	253	233	175
	人員	108	97	149	99	93	75
特 別 法 犯	件数	86	84	66	61	47	51
	人員	43	43	39	37	26	38

(2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおりで、検挙件数は58件(24.9%)減少し、検挙人員は18人(19.4%)減少した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
総 数	175	233	-58	75	93	-18
殺 人	-	1	-1	-	1	-1
強 盗	1	-	1	1	-	1
放 火	-	-	±0	-	-	±0
強 制 性 交 等	-	-	±0	-	-	±0
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	2	9	-7	2	8	-6
傷 害	16	22	-6	17	24	-7
脅 迫	2	4	-2	1	4	-3
恐 喝	8	5	3	10	6	4
窃 盗	117	170	-53	13	29	-16
詐 欺	14	6	8	19	7	12
横 領	2	-	2	2	-	2
文 書 偽 造	2	1	1	3	3	±0
賭 博	-	-	±0	-	-	±0
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	-	3	-3	-	2	-2
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	1	-	1	-	-	±0
逮捕監禁	-	1	-1	-	3	-3
信用毀損・ 威力業務妨害	-	-	±0	-	1	-1
器物損壊等	9	6	3	6	2	4
暴力行為等処罰 ニ関スル法律	-	-	±0	-	2	-2
そ の 他	1	5	-4	1	1	±0

(3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおりで、検挙件数は4件(8.5%)増加し、検挙人員は12件(46.2%)増加した。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和3年	令和2年	増減数	令和3年	令和2年	増減数
総 数	51	47	4	38	26	12
迷 惑 防 止 条 例	1	-	1	1	-	1
D V 法	-	1	-1	-	-	±0
風 営 適 正 化 法	1	-	1	1	-	1
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	4	1	3	3	-	3
銃 刀 法	4	4	±0	4	2	2
大 麻 取 締 法	7	5	2	3	3	±0
覚 醒 剤 取 締 法	33	33	±0	25	19	6
毒 劇 物 法	-	2	-2	-	2	-2
廃 棄 物 処 理 法	1	-	1	1	-	1
労 働 者 派 遣 法	-	1	-1	-	-	±0

5 来日外国人犯罪の状況

(1) 令和3年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は第38表のとおりである。刑法犯、特別法犯をあわせた総件数は237件、総人員は153人で、前年と比較すると、件数は21件(8.1%)減少し、人員は7人(4.4%)減少した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分	検挙件数				検挙人員				
	令和 3年	令和 2年	増 減		令和 3年	令和 2年	増 減		
			数	率			数	率	
総 数	237	258	-21	-8.1	153	160	-7	-4.4	
刑 法 犯	小 計	124	160	-36	-22.5	85	92	-7	-7.6
	凶 悪 犯	3	5	-2	-40.0	4	10	-6	-60.0
	粗 暴 犯	14	15	-1	-6.7	14	16	-2	-12.5
	窃 盗 犯	72	111	-39	-35.1	49	43	6	14.0
	知 能 犯	11	12	-1	-8.3	7	10	-3	-30.0
	風 俗 犯	5	3	2	66.7	2	2	±0	±0.0
	そ の 他	19	14	5	35.7	9	11	-2	-18.2
特 別 法 犯	小 計	113	98	15	15.3	68	68	±0	±0.0
	入 管 法	56	62	-6	-9.7	34	46	-12	-26.1
	迷惑防止条例	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	風営適正化法	4	2	2	100.0	1	2	-1	-50.0
	銃 刀 法	1	3	-2	-66.7	1	1	±0	±0.0
	狩 猟 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	麻薬等取締法	4	-	4	-	-	-	±0	-
	あ へ ん 法	2	-	2	-	-	-	±0	-
	大麻取締法	14	5	9	180.0	6	2	4	200.0
	覚醒剤取締法	23	22	1	4.5	15	12	3	25.0
	医薬品医療機器等法	1	-	1	-	2	-	2	-
	廃棄物処理法	-	1	-1	-100.0	1	1	±0	±0.0
	狂犬病予防法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	割賦販売法	1	-	1	-	1	-	1	-
	森 林 法	1	-	1	-	2	-	2	-
	漁 業 法	2	-	2	-	2	-	2	-
	不正アクセス禁止法	1	-	1	-	1	-	1	-
そ の 他	3	-	3	-	2	1	1	100.0	

(2) 過去10年間ににおける来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおりで、検挙件数は平成30年に過去10年で最少の件数となり、その後は2年連続で増加し、令和3年は減少した。検挙人員については平成28年に過去10年で最少の人員となり、その後は増加と減少を繰り返している。

また、令和3年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では3.6%、検挙人員では4.6%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
総 数	5,471	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421
来日外国人	362	295	253	314	114	150	92	146	160	124
構 成 比	6.6	4.9	4.7	6.5	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5	3.6
凶 悪 犯	54	46	52	45	46	49	50	40	47	49
来日外国人	2	4	1	-	3	3	2	3	5	3
構 成 比	3.7	8.7	1.9	-	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6	6.1
粗 暴 犯	322	343	333	347	360	371	396	393	360	404
来日外国人	10	11	11	11	6	11	16	18	15	14
構 成 比	3.1	3.2	3.3	3.2	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2	3.5
窃 盗 犯	3,920	4,538	3,837	3,526	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486	2,259
来日外国人	312	252	222	285	92	59	61	114	111	72
構 成 比	8.0	5.6	5.8	8.1	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5	3.2
知 能 犯	590	593	574	486	551	440	518	432	299	291
来日外国人	9	14	6	8	7	63	1	3	12	11
構 成 比	1.5	2.4	1.0	1.6	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0	3.8
風 俗 犯	101	72	99	79	76	54	52	59	55	54
来日外国人	1	-	2	2	1	2	1	2	3	5
構 成 比	1.0	-	2.0	2.5	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5	9.3
そ の 他	484	456	500	382	369	469	325	296	344	364
来日外国人	28	14	11	8	5	12	11	6	14	19
構 成 比	5.8	3.1	2.2	2.1	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1	5.2

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
総 数	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846
来日外国人	115	96	77	73	51	71	67	68	92	85
構 成 比	4.0	3.9	3.1	3.2	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9	4.6
凶 悪 犯	57	39	54	41	37	37	35	45	51	40
来日外国人	3	5	1	-	3	3	2	2	10	4
構 成 比	5.3	12.8	1.9	-	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6	10.0
粗 暴 犯	351	350	342	339	361	366	393	388	357	406
来日外国人	12	12	9	11	5	12	16	17	16	14
構 成 比	3.4	3.4	2.6	3.2	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5	3.4
窃 盗 犯	1,840	1,530	1,507	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010
来日外国人	82	56	49	53	36	41	39	43	43	49
構 成 比	4.5	3.7	3.3	3.7	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1	4.9
知 能 犯	205	214	198	147	157	176	212	164	141	183
来日外国人	10	14	8	3	3	4	4	1	10	7
構 成 比	4.9	6.5	4.0	2.0	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1	3.8
風 俗 犯	90	66	76	54	56	33	149	53	43	39
来日外国人	1	-	2	2	1	2	-	2	2	2
構 成 比	1.1	-	2.6	3.7	1.8	6.1	-	3.8	4.7	5.1
そ の 他	355	249	270	263	214	217	193	173	212	168
来日外国人	7	9	8	4	3	9	6	3	11	9
構 成 比	2.0	3.6	3.0	1.5	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2	5.4